

天龍峡桜街道八重さくら並木のある地域づくり

取り組みに至る背景・事業の目的

平成10年に、天龍川沿いに新設された街道に八重桜200本を植栽し、また同年4月に「さくら並木愛護会」が結成され、以来、八重桜の育成・管理を同愛護会が中心となって行ってきた。

平成19年には、植栽10周年を記念し、「第1回天龍峡桜街道さくら祭」を開催し、大きな盛り上がりを得ることができた。

その盛り上がりを今後にも継続させていくよう、地域住民や地域内の各団体が一丸となって祭りを更に盛り上げていくとともに、桜の育成・愛護及び魅力的な景観形成を図り、地域に愛着を持った地域協働意識を醸成し、魅力にあふれた元気のでの地域づくりと観光誘客を図る。



事業内容

- 桜街道全長2kmに等間隔に植えられた「八重さくら」200本全てにライトアップを行う恒久的施設を取り付けた。
 - ・ケーブル埋設照明設備設置
 - ・投光器の購入
 - ・用具収納庫の設置
- 桜街道沿いにある広場を活用し、地域住民をはじめ、多くの人々が集い、小中学生や地区内の伝統文化の共演となる祭りを毎年開催していく。



事業効果

- 地域の全体祭りとなり、より一層盛り上がるようになった。また、祭り参加者19年度比30%増加し、若者定住、U・Iターン者の定住につながるものと考えられる。
- 他に類のない八重さくらの観光の名所が生まれ、天龍峡と一体となった観光誘客が見込めるとともに、天龍峡観光再生の一翼を担うことができる。
- これまでも行っていたライトアップ施設の取り付け、メンテナンスが簡単になった。



工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 桜祭りをより地域が一体となった祭りとしていく。
- 八重さくらの名所として観光客受け入れ体制づくりを行う。
- ライトアップ期間中（約15日間）のイベント実施、出店サービス、特産土産品等の開発販売を関係団体に依頼し、より集客力のある祭りとしていく。



【選定のポイント】

住民が一体となって観光地の再生に取り組み、新たな観光資源の創出に至った活動は、他のモデルとなるものである。

団体名	龍江地域づくり委員会（飯田市）	事業タイプ	ハード事業
連絡先	龍江自治振興センター	事業費	5,322,600円
	電話 0265-27-3004	支援金額	1,986,000円